

# 第75回世界保健機関年次総会について 台湾のユニバーサル・ヘルス・カバレッジ

衛生福利部長 陳時中

台湾の全民健康保険制度、抑えろため、台湾政府は入  
新型コロナの防疫において  
極めて大きな役割を果たし  
た。台湾は1995年に全  
民健康保険制度を開始して  
27年が経った。全民健康保  
険は包括的かつ高品質な健  
康サービスを提供すること  
ならず、健康保険のカバ  
率は99.9%に達し、その  
名の通り全国民の健康をカ  
バーしている。台湾の完備  
された公衆衛生システムと  
全民健康保険制度は、人々  
に安心の保障と社会の安定  
を提供する重要な基盤とな  
っている。全民健康保険の整  
ったデータベースと時代と  
もに進化した情報システム

の個人情報保護は28日間  
保持され、疫学調査に使用  
後は確実に消去された。  
マスク需要が増した際  
には、健康保険カードをマ  
スク購入権として運用す  
る「マスク券制度」を採  
用し、マスク買い占めによる  
需給バランスが崩れること  
を防ぎ、すべての住民にマ  
スクが行き届くようにし  
た。「NHI Medical  
Insurance」(健康保険)は  
情報クラウド検索システ  
ムは、個人情報を守る前  
提の下で、受診者の旅行歴  
および接種歴を調べると  
ができる機能を追加するこ  
とにより、最前線の医療入  
りにおける伝染リスクを

## 空白なき防疫環境実現へ

「新台湾モデル」は「平常  
通りの生活、積極的な防疫  
ゆるやかな開放」が目標で  
ある。  
われわれは引き続き具体  
的な行動で各国と協力し、  
新型コロナワクチン、医薬  
品、研究開発の交流協力を進  
め、マスクや医薬品などの  
防疫医療物資および設備を  
寄附し、共に感染の封じ込  
めに努めており、「Tai  
wan Can Help,  
and Taiwan i  
s Helping」の  
精神で、台湾の国際貢献は  
現在進行形である。  
第75回世界保健機関年次  
総会(WHA)が今年5月  
に開催されたが、台湾は過  
去5年連続で招待されなが  
った。台湾がグローバル・  
ヘルスのカバリーする範囲が  
外れることのないよう、  
台湾は引き続き専門的、実  
務的に貢献していく精神で  
今後もWHAに参加する機  
会を求め、世界とともにW  
HOが掲げる空白なき防疫  
のビジョンを実現したい。  
われわれはWHOおよび  
関係各方面が台湾をWHO  
体系に組み入れることを固  
く支持し、台湾がWHO関  
連委員会、メカニズム、活動  
に十分参加できるようにし、  
世界衛生機構を模範とし、  
WHO憲章の「健康は基本  
的人権」と「国連持続可能  
な開発目標(SDGs)  
の「誰も取り残さない」の  
ビジョンを共に実現できる  
よう呼び掛ける。